外交防衛委員会

委員一覧（21名）

委員長	阿達　雅志（自民）	小野田　紀美（自民）	福山　哲郎（立憲）
理　事	岩本　剛人（自民）	武見　敬三（自民）	山口　那津男（公明）
理　事	佐藤　正久（自民）	中曽根　弘文（自民）	金子　道仁（維新）
理　事	小西　洋之（立憲）	堀井　巌（自民）	榛葉　賀津也（民主）
理　事	平木　大作（公明）	松川　るい（自民）	山添　拓（共産）
理　事	音喜多　駿（維新）	吉川　ゆうみ（自民）	伊波　洋一（沖縄）
	猪口　邦子（自民）	羽田　次郎（立憲）	髙良　鉄美（沖縄）

（会期終了日　現在）

（1）審議概観

第211回国会において、本委員会に付託された案件は、条約11件及び内閣提出法律案５件の合計16件であり、そのいずれも承認又は可決した。

また、本委員会付託の請願13種類230件は、いずれも保留とした。

〔条約及び法律案の審査〕

日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定及び**日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定**は、いずれも一方の締約国の部隊が他方の締約国を訪問して協力活動を行う際の手続及び同部隊の地位等を定めるものである。**日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の実施に関する法律案**及び**日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の実施に関する法律案**は、いずれも協定の適確な実施を確保するため、協定の実施に伴う道路運送法及び道路運送車両法の適用除外、刑事手続等の特例、国の賠償責任の特例並びに特殊海事損害に係る賠償の請求についての援助に関する措置を定めるものである。委員会においては、両協定締結の意義と今後の日豪・日英防衛協力の展望、両協定における訪問部隊及び文民構成員の定義、両協定が適用される協力活動と各種事態との関係、刑事裁判権の行使と公務の定義、死刑制度の適用と被疑者引渡しに係る援助義務免除の是非、国外における自衛隊員の過失行為に関する国外犯処罰規定の在り方、両協定と日米地位協定の規定振りの相違、我が国の安全保障政策における同志国の位置付け、豪州及び英国以外の国との円滑化協定締結に向けた今後の取組等について質疑が行われ、討論の後、両協定はいずれも多数をもって承認、両法律案はいずれも多数をもって可決された。

平和的目的のための月その他の天体を含む宇宙空間の探査及び利用における協力のための日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の枠組協定は、我が国とアメリカ合衆国との間において、平和的目的のための月その他の天体を含む宇宙空間の探査及び利用における協力に関する基本事項を包括的に定めるものである。委員会においては、日・米宇宙協力に関する枠組協定の締結の経緯、アルテミス計画の内容と日米宇宙協力の在り方、宇宙空間における日米の衛星等による情報の収集・共有等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって承認された。

航空業務に関する日本国と欧州連合構成国との間の協定の特定の規定に関する日本国と欧州連合との間の協定は、我が国とＥＵ構成国との間の既存の二国間航空協定の特定の規定を日・ＥＵ間の航空関係の現状を踏まえた内容とすることで、航空関係の安定的な発展に向けた基盤を整備するものである。委員会においては、協定締結の意義等について質疑が行われ、討論の後、全会一致をもって承認された。

協力及び電子的証拠の開示の強化に関するサイバー犯罪に関する条約の第二追加議定書は、サイバー犯罪に関する協力及びあらゆる犯罪に関する電子的形態の証拠の収集を更に強化することを目的として、締約国の権限のある当局の間の協力、他の締約国の領域内に所在する団体等との直接の協力等に関する追加の手段について定めるものである。委員会においては、サイバー犯罪条約の適用範囲、第二追加議定書の下での迅速かつ円滑な捜査協力を行う必要性等について質疑が行われ、討論の後、全会一致をもって承認された。

投資の相互促進及び相互保護に関する日本国とバーレーン王国との間の協定は、投資財産設立後の内国民待遇及び最恵国待遇の原則供与を規定するとともに、公正衡平待遇義務、収用等の措置がとられた場合の補償措置、支払等の自由な移転、投資紛争の解決のための手続等を定めるものである。委員会においては、協定の締結の意義、バーレーンとのエネルギー協力に投資協定が果たす役割、投資協定におけるＩＳＤＳ条項の取扱い等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって承認された。

所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアゼルバイジャン共和国との間の条約は、現行の日ソ租税条約の内容をアゼルバイジャンとの間で全面的に改正し、投資所得に対する源泉地国課税の更なる軽減等について定めるものである。**所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアルジェリア民主人民共和国との間の条約**は、二重課税の除去を目的として、投資所得に対する源泉地国課税の減免等について定めるものである。委員会においては、両条約の締結の意義、両条約に仲裁規定が盛り込まれなかった理由等について質疑が行われ、討論の後、両条約はいずれも多数をもって承認された。

調停による国際的な和解合意に関する国際連合条約は、商事紛争の解決方法としての利用を促進するため、調停による国際的な和解合意の執行等に関する枠組みについて定めるものである。委員会においては、国際調停の活性化に向けた国内外における政府の取組、調停に関するシンガポール条約と経済連携協定との関係及び対内直接投資への効果等について質疑が行われ、全会一致をもって承認された。

二千二十二年の国際コーヒー協定は、2007年の協定に代わり、国際コーヒー機関の組織、情報の交換、持続可能なコーヒー産業の実現のための国際協力及び官民連携等について定

めるものである。委員会においては、コーヒーに関する国際商品協定を締結する意義、コーヒー産業の持続可能性を確保するための国際協力の在り方等について質疑が行われ、全会一致をもって承認された。

世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書は、世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正し、同協定の附属書一Ａに違法・無報告・無規制漁業に寄与する補助金の禁止等について定める協定を追加すること等について定めるものである。委員会においては、漁業補助金協定の実効性を担保するための方法と今後の交渉における包括的な規律導入の見通し、開発途上加盟国への配慮規定の意義等について質疑が行われ、全会一致をもって承認された。

在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案は、在外公館としてイタリアに在ローマ国際機関日本政府代表部を新設するとともに、同政府代表部に勤務する外務公務員の在勤基本手当の基準額を定めること、在ウクライナ日本国大使館等の位置の地名を改めること、既設の在外公館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の基準額を改定すること、在外公館に勤務する外務公務員の子女教育手当の加算額の限度を改定すること、当該子女教育手当の支給に係る例外規定を整備すること、外務公務員の研修員手当の支給額を改定すること等について規定するものである。委員会においては、在ローマ国際機関日本政府代表部新設の意義、在外公館の整備の必要性と位置の地名変更に係る基準、在勤基本手当の基準額引上げの経緯と今後の改定方針、子女教育手当の加算額の限度改定及び例外規定の整備の意義等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

防衛省設置法の一部を改正する法律案は、自衛隊の任務の円滑な遂行を図るため、自衛官定数の変更を行うとともに、地方防衛局の所掌事務に国際協力に関する事務を追加するものである。委員会においては、防衛省・自衛隊におけるサイバー人材の確保・育成に向けた取組とサイバー防衛能力の質的向上、統合幕僚監部の体制強化が日米の指揮系統にもたらす影響、陸上自衛官の定数削減による南西地域の防衛体制への影響、ＦＭＳ調達に係る諸課題を解決するための取組等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律案は、我が国を含む国際社会の安全保障環境の複雑化及び装備品等の高度化に伴い、適確な調達を行うため、装備品製造等事業者の開発及び生産のための基盤を強化することを目的とするものである。委員会においては、防衛生産の基盤強化に向けた防衛省の基本姿勢、防衛産業の現状とデュアルユース技術への対応を含む将来の方向性、企業に対する支援措置と官民の癒着や不正を防止する方策、企業に対するサプライチェーン調査の内容とその実効性、防衛装備品の輸出と我が国の平和主義との関係、装備移転円滑化措置における指定装備移転支援法人の在り方、装備品の製造施設等を国が保有する際の判断基準と企業への譲渡の実現可能性、装備品等契約における秘密の保全措置の実効性等について質疑が行われたほか、参考人からの意見聴取を行い、討論の後、多数をもって可決された。

〔国政調査等〕

２月16日～17日、我が国の外交、防衛等に関する実情調査のため、埼玉県、鹿児島県及び宮崎県への委員派遣を行い、航空自衛隊入間基地、海上自衛隊鹿屋航空基地、陸上自衛隊国分駐屯地、航空自衛隊下甑島分屯基地、陸上自衛隊えびの駐屯地、海上自衛隊えびの送信所等からの説明聴取、関連施設の視察、意見交換等を行った。

３月７日、外交の基本方針について林外務大臣から、国の防衛の基本方針について浜田防衛大臣から、それぞれ所信を聴取した。また、上記委員派遣について派遣委員から報告を聴取した。

３月９日、外交の基本方針及び国の防衛の基本方針について質疑を行った。

３月17日、予算委員会から委嘱された令和５年度外務省予算・防衛省予算等の審査を行い、質疑を行った。

４月11日、防衛装備移転、日中関係、陸上自衛隊ヘリコプターの事故、国民保護措置、日中防衛当局間の海空連絡メカニズム、自衛隊による下地島空港の利用、防衛省・自衛隊におけるハラスメント、沖縄県金武町の民家で銃弾が発見された事案、日米地位協定等について質疑を行った。

４月20日、陸上自衛隊ヘリコプターの事故、Ｇ７長野県軽井沢外相会合、弾道ミサイル防衛、防衛力の整備、政府安全保障能力強化支援、人権外交、多国間外交等について質疑を行った。

５月９日、国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画について林外務大臣及び浜田防衛大臣から報告を聴取した後、質疑を行った。

５月25日、Ｇ７広島サミット等について林外務大臣から報告を聴取した後、Ｇ７広島サミット等、ウクライナ情勢、クルド難民、防衛力の整備等について質疑を行った。

６月６日、日韓関係、防衛力の整備、女子差別撤廃条約選択議定書、在沖縄米軍基地問題等について質疑を行った。

（２）委員会経過

〇令和５年１月26日（木）（第１回）

ｏ外交、防衛等に関する調査を行うことを決定した。

ｏ委員派遣を行うことを決定した。

〇令和５年３月７日（火）（第２回）

ｏ外交の基本方針に関する件について林外務大臣から所信を聴いた。

ｏ国の防衛の基本方針に関する件について浜田防衛大臣から所信を聴いた。

ｏ派遣委員から報告を聴いた。

〇令和５年３月９日（木）（第３回）

ｏ理事の補欠選任を行った。

ｏ政府参考人の出席を求めることを決定した。

ｏ外交の基本方針に関する件及び国の防衛の基本方針に関する件について林外務大臣、浜田防衛大臣、磯﨑内閣官房副長官、中谷経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、福山哲郎君（立憲）、小西洋之君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大

作君（公明）、鈴木宗男君（維新）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、伊波洋一君（沖縄）、山添拓君（共産）

〇令和５年３月17日（金）（第４回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**令和五年度一般会計予算（衆議院送付）**
令和五年度特別会計予算（衆議院送付）
令和五年度政府関係機関予算（衆議院送付）
（外務省所管、防衛省所管及び独立行政法人国際協力機構有償資金協力部門）について林外務大臣及び浜田防衛大臣から説明を聴いた後、林外務大臣、浜田防衛大臣、磯﨑内閣官房副長官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

堀井巌君（自民）、福山哲郎君（立憲）、小西洋之君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）

本委員会における委嘱審査は終了した。

〇令和５年３月28日（火）（第５回）

○**在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第11号）（衆議院送付）**について林外務大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年３月30日（木）（第６回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第11号）（衆議院送付）**について林外務大臣、浜田防衛大臣、小野田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

松川るい君（自民）、小西洋之君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

（閣法第11号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄

反対会派　なし

〇令和５年４月11日（火）（第７回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○防衛装備移転に関する件、日中関係に関する件、陸上自衛隊ヘリコプターの事故に関する件、国民保護措置に関する件、日中防衛当局間の海空連絡メカニズムに関する件、自衛隊による下地島空港の利用に関する件、防衛省・自衛隊におけるハラスメントに関する件、沖縄県金武町の民家で銃弾が発見された事案に関する件、日米地位協定に関する件等について浜田防衛大臣、林外務大臣、磯﨑内閣官房副長官、太田経済産業副大臣、宮本財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、福山哲郎君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、音喜多駿君（維新）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）、髙良鉄美君（沖縄）

○**防衛省設置法の一部を改正する法律案（閣法第19号）（衆議院送付）**について浜田防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年４月13日（木）（第８回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**防衛省設置法の一部を改正する法律案（閣法第19号）（衆議院送付）**について浜田防衛大臣、林外務大臣、磯﨑内閣官房副長官、築文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

岩本剛人君（自民）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

（閣法第19号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派　共産、沖縄

なお、附帯決議を行った。

〇令和５年４月20日（木）（第９回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○陸上自衛隊ヘリコプターの事故に関する件、Ｇ７長野県軽井沢外相会合に関する件、弾道ミサイル防衛に関する件、防衛力の整備に関する件、政府安全保障能力強化支援に関する件、人権外交に関する件、多国間外交に関する件等について浜田防衛大臣、林外務大臣、井野防衛副大臣、本田厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

堀井巌君（自民）、福山哲郎君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）

○**日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第１号）（衆議院送付）**

日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第２号）（衆議院送付）

以上両件について林外務大臣から趣旨説明を聴き、

日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の実施に関する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）

日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の実施に関する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）

以上両案について浜田防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年４月25日（火）（第10回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第１号）（衆議院送付）**

日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間

の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第２号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の実施に関する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の実施に関する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）
以上４案件について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
佐藤正久君（自民）、岩本剛人君（自民）、福山哲郎君（立憲）、小西洋之君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、音喜多駿君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

〇令和５年４月27日（木）（第11回）
○政府参考人の出席を求めることを決定した。
○日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第１号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第２号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の実施に関する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の実施に関する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）
以上４案件について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第１号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第２号）（衆議院送付）
以上両件をいずれも承認すべきものと議決し、
日本国の自衛隊とオーストラリア国防軍との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とオーストラリアとの間の協定の実施に関する法律案（閣法第33号）（衆議院送付）
日本国の自衛隊とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国の軍隊との間における相互のアクセス及び協力の円滑化に関する日本国とグレートブリテン及び北アイルランド連合王国との間の協定の実施に関する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）
以上両案をいずれも可決した。
〔質疑者〕
福山哲郎君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）
（閣条第１号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派　共産、沖縄
（閣条第２号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派　共産、沖縄
（閣法第33号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派　共産、沖縄
（閣法第34号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派　共産、沖縄

〇令和５年５月９日（火）（第12回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○国家安全保障戦略、国家防衛戦略及び防衛力整備計画に関する件について林外務大臣及び浜田防衛大臣から報告を聴いた後、浜田防衛大臣、林外務大臣、中谷経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、松川るい君（自民）、小西洋之君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、榛葉賀津也君（民主）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、音喜多駿君（維新）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

○平和的目的のための月その他の天体を含む宇宙空間の探査及び利用における協力のための日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の枠組協定の締結について承認を求めるの件（閣条第３号）（衆議院送付）

航空業務に関する日本国と欧州連合構成国との間の協定の特定の規定に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第７号）（衆議院送付）

協力及び電子的証拠の開示の強化に関するサイバー犯罪に関する条約の第二追加議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第９号）（衆議院送付）

以上３件について林外務大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年５月11日（木）（第13回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○平和的目的のための月その他の天体を含む宇宙空間の探査及び利用における協力のための日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の枠組協定の締結について承認を求めるの件（閣条第３号）（衆議院送付）

航空業務に関する日本国と欧州連合構成国との間の協定の特定の規定に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第７号）（衆議院送付）

協力及び電子的証拠の開示の強化に関するサイバー犯罪に関する条約の第二追加議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第９号）（衆議院送付）

以上３件について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

羽田次郎君（立憲）、高木真理君（立憲）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）

（閣条第３号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派　共産、沖縄
（閣条第７号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄
反対会派　なし
（閣条第９号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄
反対会派　なし

〇令和５年５月16日（火）（第14回）

○投資の相互促進及び相互保護に関する日本国とバーレーン王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第４号）（衆議院送付）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアゼルバイジャン共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（閣条第５号）（衆議院送付）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアルジェリア民主人民共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（閣条第６号）（衆議院送付）
以上３件について林外務大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年５月23日（火）（第15回）

○理事の補欠選任を行った。
○政府参考人の出席を求めることを決定した。
○投資の相互促進及び相互保護に関する日本国とバーレーン王国との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第４号）（衆議院送付）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアゼルバイジャン共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（閣条第５号）（衆議院送付）
所得に対する租税に関する二重課税の除去並びに脱税及び租税回避の防止のための日本国とアルジェリア民主人民共和国との間の条約の締結について承認を求めるの件（閣条第６号）（衆議院送付）
以上３件について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも承認すべきものと議決した。
〔質疑者〕
岩本剛人君（自民）、小西洋之君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）
（閣条第４号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、沖縄
反対会派　共産
（閣条第５号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、沖縄
反対会派　共産
（閣条第６号）
賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、沖縄
反対会派　共産

〇令和５年５月25日（木）（第16回）

○**我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な財源の確保に関する特別措置法案（閣法第１号）（衆議院送付）**について財政金融委員会に連合審査会の開会を申し入れることを決定した。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○Ｇ７広島サミット等に関する件について林外務大臣から報告を聴いた後、同件、ウクライナ情勢に関する件、クルド難民に関する件、防衛力の整備に関する件等について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

堀井巌君（自民）、福山哲郎君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）

〇令和５年５月30日（火）（第17回）

○理事の補欠選任を行った。

○**防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律案（閣法第20号）（衆議院送付）**について浜田防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○**防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律案（閣法第20号）（衆議院送付）**について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

元航空自衛隊補給本部長・空将　尾上定正君

拓殖大学教授　佐藤丙午君

武器取引反対ネットワーク（ＮＡＪＡＴ）代表　杉原浩司君

〔質疑者〕

松川るい君（自民）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、音喜多駿君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

〇令和５年５月30日（火）

財政金融委員会、外交防衛委員会連合審査会（第１回）

（財政金融委員会を参照）

〇令和５年６月１日（木）（第18回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律案（閣法第20号）（衆議院送付）**について浜田防衛大臣、林外務大臣、井野防衛副大臣、武井外務副大臣、井出文部科学副大臣、近藤内閣法制局長官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、質疑を終局した。

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、平木大作君（公明）、福山哲郎君（立憲）、小西洋之君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、音喜多駿君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

〇令和５年６月６日（火）

財政金融委員会、外交防衛委員会連合審査会（第２回）

（財政金融委員会を参照）

〇令和５年６月６日（火）（第19回）

○防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律案（閣法第20号）（衆議院送付）について討論の後、可決した。

（閣法第20号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派　共産、沖縄

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○日韓関係に関する件、防衛力の整備に関する件、女子差別撤廃条約選択議定書に関する件、在沖縄米軍基地問題に関する件等について浜田防衛大臣、林外務大臣、金子財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

榛葉賀津也君（民主）、小西洋之君（立憲）、金子道仁君（維新）、山添拓君（共産）、髙良鉄美君（沖縄）

○調停による国際的な和解合意に関する国際連合条約の締結について承認を求めるの件（閣条第８号）（衆議院送付）

二千二十二年の国際コーヒー協定の締結について承認を求めるの件（閣条第10号）（衆議院送付）

世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第11号）（衆議院送付）

以上３件について林外務大臣から趣旨説明を聴いた。

〇令和５年６月８日（木）（第20回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○調停による国際的な和解合意に関する国際連合条約の締結について承認を求めるの件（閣条第８号）（衆議院送付）

二千二十二年の国際コーヒー協定の締結について承認を求めるの件（閣条第10号）（衆議院送付）

世界貿易機関を設立するマラケシュ協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（閣条第11号）（衆議院送付）

以上３件について林外務大臣、浜田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

岩本剛人君（自民）、小西洋之君（立憲）、羽田次郎君（立憲）、平木大作君（公明）、金子道仁君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）

（閣条第８号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄

反対会派　なし

（閣条第10号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄

反対会派　なし

（閣条第11号）

賛成会派　自民、立憲、公明、維新、民主、共産、沖縄

反対会派　なし

〇令和５年６月８日（木）

財政金融委員会、外交防衛委員会連合審査会（第３回）

（財政金融委員会を参照）

〇令和５年６月21日（水）（第21回）

○請願第15号外229件を審査した。

○外交、防衛等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

〇令和５年２月16日（木）、17日（金）

○我が国の外交、防衛等に関する実情調査

〔派遣地〕

埼玉県、鹿児島県、宮崎県

〔派遣委員〕

阿達雅志君（自民）、岩本剛人君（自民）、佐藤正久君（自民）、小西洋之君（立憲）、平木大作君（公明）、音喜多駿君（維新）、榛葉賀津也君（民主）、山添拓君（共産）、伊波洋一君（沖縄）